

「感じ悪いよね」と思われるのは、会話がヘタだったからです。人の話を目をそらして聞いていたのです。

「つき合ってくれたら、いい人だとわかります」と言う人がいます。そういう人とはつき合いません。

感じの悪い人に「もう一回会いたい」とは思わないからです。

これで未来のチャンスがなくなっていくのです。

ダメな人も会話がうまければ、また会ってもらえます。

会話の中で、ダメなところを直してもらえます。

そうすると、**会話から成長していけるチャンスが生まれます。**

**今いい人かどうかではなくて、これからの成長のチャンスがあるかどうかです。**

会話のできる人か、できない人かで、今後の成長率は変わります。

**人間は、会話を通して成長します。**

成長するためには、会話ができる必要があります。

会社にとっては、大学生が今何ができようが関係ありません。

それよりは、これから教えることができる人を育てたいのです。

教えることができるのは、会話のできる人です。

会話で教えるので、会話のできる人を採用します。

教えてくれる人と会話ができる才能を持っている人は、人との出会いから何かを学び、生まれ変わることができるのです。

---

会話が弾む62の具体例 01

**いい人より、**

**会話が上手な人になろう。**

---